

●施設の概要

施設名	Showa スポーツピアザ (北西部運動公園)	所管課	都市建設部公園整備課
所在地	岐阜市曾我屋8丁目		
指定管理者名	昭和造園土木・FC岐阜運営共同体		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	86,690,000円		
施設の設置目的	北西部プラント(下水処理場)の上部の有効利用及びスポーツ・レクリエーションの拠点として天然芝のグラウンドと芝生広場を整備した運動公園として設置		
施設概要	・公園種別 運動公園 ・開設年月 平成20年3月 ・開設面積 50,840 m² ・主な施設 グラウンド(芝)2面、芝生広場、ナイター照明 ・その他の施設 園路、トイレ、休憩所、管理事務所、駐車場 など		

●利用状況

単位：名

単位：円

		Aグラウンド	Bグラウンド	芝生広場	利用者合計	料金収入
R3年度	上半期	6,226	6,752	8,460	21,438	509,780
	下半期	8,111	5,475	11,934	25,520	645,970
	合計	14,337	12,227	20,394	46,958	1,155,750
R4年度	上半期	9,115	11,701	10,671	31,487	1,187,960
	下半期	9,920	7,421	15,315	32,656	756,320
	合計	19,035	19,122	25,986	64,143	1,944,280
R5年度	上半期	7,330	14,722	10,182	32,234	1,162,880
	下半期	6,950	6,071	11,295	24,316	843,950
	合計	14,280	20,793	21,477	56,550	2,006,830
R6年度	上半期	9,131	10,536	10,859	30,526	1,386,630
	下半期	7,160	7,460	11,905	26,525	897,880
	合計	16,291	17,996	22,764	57,051	2,284,510
R7年度	上半期	8,550	11,910	14,621	35,081	1,736,260
	下半期	7,210	8,659	15,423	31,292	1,113,100
	合計	15,760	20,569	30,044	66,373	2,849,360

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	1 公園全般の業務の実施	1 公園全体の運營業務は、公園や芝生などの専門的知識を有する昭和造園土木㈱より所長、副所長を配置。 常駐管理人は（公財）シルバー人材センター6名のシフトにより運営を行った。 2 維持管理業務、修繕及び緊急時の出動要員などの業務は、昭和造園土木㈱より8名を配置、イベントや地域連携業務は、FC岐阜より担当職員を配置した。これらの組織を統括するため、本部長を1名配置し、円滑な業務運営に努めた。 管理棟及び駐車場の供用時間 6:30～21:30 ※Bグラウンドに夜間利用がない場合は19:30に施錠した ※休園日に関しては、6:30～19:30まで駐車場を開放した
	2 有料公園施設 （供用日・供用時間、 施設貸付）	原則月曜日は休園 Aグラウンド（芝） 7:00～17:00 Bグラウンド（芝） 7:00～21:00 ・供用日・供用時間の管理並びに施設貸付及び利用受付業務は、「岐阜市公共施設予約システム」及び岐阜市役所からの連絡により、管理棟にて実施した。
	3 A・Bグラウンド （天然芝）維持管理	1 芝生の状態を確認しながら、天候や利用状況を勘案し、状況に応じた処置を実施することで良好なコンディション保持に努めた。（施肥、灌水、防除、刈込み、エアレーション、播種、補植等）
	4 芝生広場の維持管理	1 毎週1回以上、天候や利用状況等による芝生の生育状態を確認し、当該状況に応じた適切な処置を実施することで、良好なコンディション保持に努めた。（施肥、灌水、防除、刈込み、エアレーション等） 2 利用者へスパイクの利用禁止などの注意看板を掲示し、公園利用のルールを守るように啓発を行った。
	5 駐車場及びその他施設の 維持管理 （トイレ、更衣室、 器具庫等）	1 毎日、朝、昼、晩の計3回、常駐管理人によりチェックシートを用いて破損箇所や不具合の有無の確認を行った。 2 感染症予防用に設置した手洗い洗剤、消毒用アルコールの補充を都度行った。 3 破損等が発見された場合は、「施設設備破損亡失等発見報告書」及び「気づいたことシート」により情報共有し、適切な対策又は対応を行った。
	6 公園内植栽及び周辺草地 の維持管理	1 公園内の植栽は、樹種の特性に応じて、花芽が十分に形成されるように剪定時期の調整や良好な景観形成に配慮しながら維持管理を行った。 2 公園に隣接する堤防の草刈りは、河川に生息する生物の生育環境を保持するため、産卵期等を勘案し、時期を調整するなどの自然環境への配慮を行った。 3 樹木の状態を確認しながら、消毒や防除を行った。 4 枯木等の補植を行った。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	7 広報の方策について	1 ホームページによる情報発信を行った。 2 無料 Wi-Fi 接続時に当公園ホームページに接続するよう設定した。 3 SNS（インスタグラム）を活用し、公園の身近な話題を発信した。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	1 A・B グラウンド			
	1)排水性を考慮したグラウンドの勾配管理	実施	通年	・降雨後における、グラウンドや排水の状況等の観察、改善を行うなど排水性を考慮した管理を行った。
	2)維持管理の継続	実施	通年	・芝生管理担当者を常駐させ、常に芝生の状況を観察し、適切な管理ができるよう管理体制を整えた。 ・ラインペイント（液体状、2週間効果持続、芝刈りで消去可能）を使用し、ラインパウダーの堆積や除去時に発生する芝生へのダメージを軽減した。 ・施設管理、運営に関する講習会を受講し、職員の知識向上を図った。 ・ディボット（くぼみ）部分の手目砂の充填を頻繁に行った。
	2 芝生広場			
	1)芝生の維持管理	実施	通年	・芝生コンディションを確認しながら、利用者に対して養生範囲と利用可能な範囲を分かりやすく示した。 ・スパイク利用者の増加と共に芝生の損傷が進んだため、スパイクでの利用禁止等の注意看板の取替を行った。
	3 照明			
	1)経費削減のため特定規模電気事業者（PPS）に切り替え	実施	通年	・業者を選定し、より安価な事業者と契約を締結した。
	2)点灯時間をタイマーにより切り替え	実施	通年	・時期に応じて、点灯時間を調整し、省電力化を推進した。 ※夏期 19:30 点灯／冬季 17:30 点灯
	4 建物			
	1)5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の実施	実施	通年	・毎月 1 回、施設内の整理状況を確認した。（管理棟、器具庫）
	5 駐車場・外構			
	1)公園利用者に対する安全確保	実施	通年	・駐車場の利用状況により、利用者が多い場合は誘導、指示して利用者の安全性を確保した。
	2)駐車場の管理	実施	通年	・見回りを行い、大雨時は冠水の危険があることを公園利用者に口頭で伝えるなど、公園利用者の安全確保に努めた。
	6 メンテナンス設備			
	1)いたずら防止対策	実施	通年	・不審者を見かけた場合の声かけ等、常駐管理人への教育訓練を実施した。 ・関係機関（警察、消防）への情報提供を行った。
	7 修景			
	1)除草作業	実施	通年	・自然環境に配慮し、薬剤を使用せず、温水除草機を使った除草活動を実施した。
	2)プランターの植栽入れ替え	実施	通年	・A グラウンド東側にあるプランター30基の植栽の入れ替えを行った。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	3) 季節の花壇づくり実施	実施	通年	・SDGs の取り組みの一環として、花壇の土壌を改良するため、公園管理で発生した剪定木を約 1 年かけて堆肥化し、既存土に混ぜ込むなど、自然環境に配慮した公園づくりに努めた。
	8 利便性			
	1)A グラウンド隣接管理棟に無料 Wi-Fi スポット運営	実施	通年	・1 日 15 分×4 回 キャリアフリー(誰でも使用可) ※使用範囲は駐車場へ向けて約 70m 程度
	2) 閉園時間がわかるように移動式看板を追加し明示	実施	通年	・移動式看板「本日の閉園時間」を設置した。 ・閉園時間の看板を増設した。
	3) B 管理棟に自販機を設置	実施	通年	・B 管理棟に飲料水の自販機を設置した。
	4) アンケートの WEB 回答	実施	通年	・イベント開催時のアンケートについて、QR コードを発行し帰宅後にも回答できるようにした。
	5) スタッフ管理ブログの開設	実施	随時	・HP 内でスタッフ管理ブログを開設し、当公園の業務やスポーツターフ管理について、動画や画像を発信し、利用促進を図った。
	9 安全性の向上			
	1) 防犯カメラの設置(24h 稼働)	実施	通年	・防犯カメラを設置し、警察からの画像提供依頼に対応できるよう態勢を整えた。
	2) カラーコーン等による利用者誘導	実施	通年	・公園利用団体が複数になる場合は、団体に応じた駐車位置の明示と誘導を行うことで、利便性及び歩行者の安全性の確保を図った。
	3) 園内の消毒	実施	通年	・環境衛生の観点から、定期的なトイレ等の共用部分でのアルコール消毒を継続して行った。
	10 他団体との連携			
	1) FC 岐阜応援メッセージの募集掲示	実施	通年	・来園者に FC 岐阜への応援メッセージ募集を呼びかけ、掲示した。
	2) FC 岐阜練習時のサポーター導線確保(立入禁止等の処置)	実施	通年	・FC 岐阜のスタッフと協議し、ファンサービスエリア、立ち入り禁止エリアの設定及びスタッフ専用駐車場等の規制を行った。
	3) FC 岐阜 eco サボ資源ゴミ回収ボックスの設置	実施	通年	・資源ゴミ回収ボックスの管理を行った。 ※金曜日に定期回収
	4) GK (ゴールキーパー) クリニック	新規	11 月 24 日	・小学 4 年生から大人まで幅広い世代を対象に、ゴールキーパーに特化した育成イベントを開催した。 <実績> 参加数 30 名
	5) 中学生&大人サッカースクール	新規	12 月 5 日 12 月 19 日	・FC 岐阜の主催で、市内の中学生と大人(県内のアマチュアサッカー愛好家)が参加する世代を超えたサッカースクールを開催した。 <実績> 参加数 両日 40 名

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	6) Showa スポーツピアザ 少年団サッカー大会	実施	12 月 27 日	・ 小学 6 年生を対象に天然芝でサッカー大会を開催した。 ＜実績＞ 参加数 100 名
	7) 指導者講習会	実施	2 月 20 日	・ 次世代を担う選手たちの指導者を対象とした、講習会を開催した。 ＜実績＞ 参加数 30 名
	8) 岐阜県ミニラグビー フットボール大会	実施	2 月 22 日	・ 岐阜県ラグビー協会と連携し、岐阜県内の小学生を対象にミニラグビー大会を開催した。 ＜実績＞ 参加数 200 名
	9) Showa スポーツピアザ杯	実施	3 月 29 日	・ 岐阜県内の小学生を対象に、サッカー大会を実施した。 ＜実績＞ 参加数 200 名

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	1 建物、工作物、設備維持管理業務	実施	通年	・毎日、朝、昼、晩の計3回、チェックシートを用いて破損箇所や不具合がないかの確認を行った。
	2 自家用電気工作物保守点検業務	実施	通年	・中部電気保安協会による点検を行った。 (月1回)
	3 保安警備業務	実施	通年	・管理人を常駐させ、安全、安心に利用できるように業務を遂行した。 (閉園時は施錠を徹底した)
	4 園内清掃業務	実施	通年	・毎日、朝、昼、晩の計3回、チェックシートを用いて清掃を行った。 ・専門業者による除草や近隣堤防の除草を行うなど、園内及び周辺の美化活動を行った。
	5 便所清掃業務	実施	通年	・トイレ清掃を適切に行った。 ・月に1回専門業者による清掃を行った。
	6 水位上昇時の施設撤去業務	実施	通年	・気象台や岐阜市 HP、ニュース等による防災情報の確認、緊急時連絡体制の掲示など、水位上昇時の施設撤去が円滑に行えるよう業務体制を確認した。
	7 植物管理業務について 樹木管理	実施	通年	・芝草管理技術者等の有資格者が樹木等の成育状況を確認した。 ・グリーンドクター及び技能士等の有資格者が、剪定、草刈りの時期等を勘案し、樹木管理を行った。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	1 Bグラウンドの防球ネットのほつれを修繕した。
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護、非常時の対応策について	1 公園に対する要望等は、丁寧に話を聞き、迅速かつ適切な対応に努めた。 2 法令遵守に努め、企業行動として模範となるよう努めた。 3 全体会議を開催し、個人情報の保護及び守秘義務の徹底を図った。 また、拾得物の確認等で個人情報を確認する場合は個人情報保護法令等の遵守に努めた。 4 掲示物等で氏名の公表を行う可能性がある場合は当該旨を明示し、掲示可能な氏名として記入した。 5 北西部運動公園の各種マニュアル、緊急連絡網等を基に、危機管理体制を構築した。 6 時期に応じた利用者に潜む危険性(雷、台風、猛暑等)について資料を収集し、毎月開催の管理人会議にて継続教育を行った。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	A・B グラウンド 252 名、芝生広場 403 名、イベント 104 名、計 759 名から回答を得た。 (実施期間：令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)
利用者アンケートの実施結果	○A・B グラウンド 1) 年齢：10 代 9% 20 代 12% 30 代 19% 40 代 29% 50 代 12% 60 代以上 19% 2) 性別：男性 95% 女性 5% 3) 住所：市内 88% 県内 8% 県外 4% 4) 知名度：知っていた 96% SNS0% ホームページ 2% クチコミ 0% その他 2% 5) 来園回数：週に 1 回 33% 月に 1 回 57% 年に 1 回 4% 初めて 6% 6) 利用グラウンド：A グラウンド 17% B グラウンド 83% 7) 満足度ハード面 大変満足 90% 満足 7% 普通 2% やや不満 1% 不満 0% 8) 満足度ソフト面：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 90% 満足 9% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 9) 職員の対応：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 92% 満足 7% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 10) 総合満足度：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 92% 満足 7% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 11) 次回の利用について： 必ず利用する 95% 利用する 5% どちらともいえない 0% たぶん利用しない 0% 利用しない 0%
	○芝生広場 1) 年齢：10 代 5% 20 代 7% 30 代 12% 40 代 7% 50 代 7% 60 代以上 62% 2) 性別：男性 53% 女性 47% 3) 住所：市内 94% 市外 5% 県外 1% 4) 知名度：知っていた 98% ホームページ 0% SNS 0% 雑誌 0% 口コミ 1% その他 1% 5) 来園回数：週に 1 回 88% 月に 1 回 8% 年に 1 回 3% 初めて 1% 6) 来園目的：グラウンドゴルフ 53% サッカー 25% 散歩 19% 陸上 2% その他 1% 7) 満足度ハード面 大変満足 73% 満足 24% 普通 2% やや不満 1% 不満 0% 8) 満足度ソフト面：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 75% 満足 24% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 9) 職員の対応：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 79% 満足 20% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 10) 総合満足度：(大変満足・満足合計 99%) 大変満足 77% 満足 22% 普通 1% やや不満 0% 不満 0% 11) 次回の利用について 必ず利用する 92% 利用する 8% どちらともいえない 0% 多分利用しない 0% 利用しない 0%
	○イベント 1) 年齢：10 代 9% 20 代 7% 30 代 20% 40 代 35% 50 代 23% 60 代以上 6% 2) 性別：男性 90% 女性 10% 3) 住所：市内 67% 県内 31% 県外 2% 4) 知名度：知っていた 81% SNS2% ホームページ 8% クチコミ 2% その他 7% 5) 来園回数：週に 1 回 3% 月に 1 回 46% 年に 1 回 38% 初めて 13% 6) 利用グラウンド：A グラウンド 28% B グラウンド 72% 7) 満足度ハード面 大変満足 75% 満足 18% 普通 6% やや不満 1% 不満 0% 8) 満足度ソフト面：(大変満足・満足合計 94%) 大変満足 77% 満足 17% 普通 5% やや不満 1% 不満 0% 9) 職員の対応：(大変満足・満足合計 94%) 大変満足 83% 満足 11% 普通 6% やや不満 0% 不満 0% 10) 総合満足度：(大変満足・満足合計 98%) 大変満足 83% 満足 15% 普通 2% やや不満 0% 不満 0% 11) 次回の利用について： 必ず利用する 77% 利用する 21% どちらともいえない 2% たぶん利用しない 0% 利用しない 0%

利用者アンケートの実施結果	○評価対象となる項目の合計 1) 満足度ソフト面: (大変満足・満足計 R7 下半期 97.9% R7 上半期 97.3%) 2) 職員の対応 : (大変満足・満足計 R7 下半期 98.8% R7 上半期 96.3%) 3) 総合満足度 : (大変満足・満足計 R7 下半期 98.9% R7 上半期 97.9%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	通常のサッカーイベントとは異なる、ゴールキーパーに特化した専門的な育成・指導イベントを開催してほしい。 →「GK（ゴールキーパー）クリニック」を開催した。専門スキルの直接指導を行う場を提供することで、幅広い世代の競技者技能向上と施設の利用促進を図った。 冬季は日没が早いため、Bグラウンドのナイター開始時間である 19 時前でも周囲が暗く、プレーに支障がある。利用可能時間を早めてほしい。 →利用者の安全確保と利便性向上のため、冬季の照明利用開始時間を繰り上げ、17 時から 19 時の時間帯についても新たに利用可能とする運用改善を行った。これに伴い、岐阜市施設予約システムのメニュー設定を更新した。 A グラウンドのベンチ付近にある樹木において毛虫が発生しており、休憩時の安全面に不安がある。 →利用者が直接触れる可能性のあるベンチ周辺であることから、直ちに現地を確認。該当する樹木に対して速やかに殺虫剤を散布し、駆除作業を完了させた。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	市民が平等に利用できるための基本的な考え方についての評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特性を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設（有料公園施設については除く）の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
			○グラウンド（芝）の維持管理の方策について実施している	A	A	A
		有料公園施設運営に対する考え方についての評価	○有料公園施設を利用者が快適に利用できるための方策を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	S	S	S
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	S S	S S	S S
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
		その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	「事業計画書の内容が管理経費の縮減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の縮減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を縮減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ（採用予定者も含む）の配置は適正なものとなっている	A	A	A
		有料公園施設の利用促進に対する評価	○有料公園施設の収入増加を図るための方策を実施している	A	A	A
		その他経費縮減について応募者の独自提案	○経費縮減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A
			○組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ（採用予定者も含む）の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	A	A	A
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A
			○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A
		緊急時における対応についての評価	○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A
			○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A
			○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A
			○災害発生後の対応について、罹災状況の確認と早急な復旧をする態勢が整っている	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元 に貢献できる内容であるかの 評価	○地元での社会活動を具体的に 実施している	A	A	A
			○公園の特徴を理解し、地元への 配慮等を実施している	A	A	A
			○地元の法人その他の団体の育 成施策を実施している	A	A	A
			○地元の住民、高齢者、障害者等 の雇用が確保されている	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

前回までの意見を踏まえた取組み状況	1 芝生について、TQ調査(ターフクオリティ調査)を行い、芝の生育状態、密度や均一性、地面の硬度などを数値化して測定し、芝生の健康状態等を客観的に診断することで、芝生上でのプレーの際の安全性の向上に努めた。また、芝生のコンディション情報を公開している。 2 散歩中の方々が楽しめるよう、プランターへマリーゴールド等の季節の花を植栽し、彩り豊かな空間を創出した。
今期の取組に対する評価	1 FC岐阜アカデミーコーチや元プロ GK(ゴールキーパー)が直接指導する、ゴールキーパー特化型のクリニックを開催した。フィールドプレイヤー向けの通常スクールとは異なる、専門的な技術を学べる機会を提供した。 2 女子サッカー日本代表監督(なでしこジャパン)や日本サッカー協会技術委員会副委員長も務めた経歴を持つコーチ陣による、次世代を担う選手たちの指導者を対象とした、講習会を開催した。 3 当公園はサッカーやグラウンドゴルフでの競技利用が多いため、ラグビーでの利用促進を目的として岐阜県ラグビー協会と連携し、ミニラグビー大会を開催した。 4 上半期に続き Showa スポーツピアザ HP 内でスタッフ管理ブログ【スポーツターフ管理】を主に情報を発信し、当公園の魅力やイベント周知に努め、公園利用の促進を図った。 5 グラウンド利用に伴うスポーツ事故に備え、救急車両の進入ルートや対応マニュアルをスタッフ間で共有し、緊急時に迅速な対応ができる体制を整えた。
今後の取組み	1 専門的な芝生維持管理技術を活かした「グラウンズマン体験」等の自主事業を行い、他の公園にはない独自の魅力を創出していく。単なるイベント開催に留まらず、芝生の管理手法を市民に公開・体験してもらう機会を設けることで、施設への愛着と維持管理への理解を深めていく。 2 地元自治会と連携し、緑豊かな園内の景観や園路を活用したウォーキングイベントを定期的に開催していく。スポーツ競技者以外の来園機会を積極的に創出することで、地域住民の健康づくりを多角的に支援するとともに、多世代が日常的に集い、交流できるコミュニティの拠点としての機能を強化していく。 3 指定管理者の持つノウハウや FC 岐阜の運営体制を活用し、GK(ゴールキーパー)クリニック等の専門的な教室を継続的に開催することで、スポーツの普及と次世代の競技力向上を図っていく。トップレベルの指導を直接受けられる機会を定期的に提供し、ジュニア世代の育成を通じて地域コミュニティの活性化に寄与するとともに、ラグビー等、他競技団体との連携もさらに深化させていく。これにより、冬季も含めた年間を通じたスポーツ振興の拠点としての役割をより一層強化していく。 4 利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、アンケート等で要望のあった貸出用備品の更新・充実に努める。荷物の運搬に使用するリヤカーの新調を予定しており、利用者満足度の向上を図る。

●所管課の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・通常の練習では得られない特化型の育成イベントである GK（ゴールキーパー）クリニックを実施することで、既存利用者の満足度向上のみならず、新規利用者の獲得にも積極的に努めている。
- ・芝生の適切な品質保持の調査手法である TQ 調査（ターフクオリティ調査）を定期的に行い、芝生のクッション性、透水状況等を確認することで、良好な生育環境を確保しており、それが利用者数の維持・増加という具体的な成果として現れている。
- ・公園利用者の対象を従来のサッカー利用者に限定せず、園内の植栽整備やラグビーイベントの共催など、広く門戸を広げることで、公園の魅力向上と利用層の拡大を効果的に実施している。
- ・冬季のナイター運用に関する要望を汲み上げ、利用時間の繰り上げ等に迅速かつ柔軟に対応することで、利用者の満足度向上に努めている。

以上により、運営状況は、協定書の内容に基づき、良好である。

●指定管理者評価委員会の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・サッカーの特定のポジションに特化した育成イベントである GK（ゴールキーパー）クリニックを実施することで、他のイベントとの差別化を図り、既存利用者の満足度向上のみならず、新規利用者の獲得にも積極的に努めたことは評価できる。
- ・芝生の適切な品質保持の調査手法である TQ 調査（ターフクオリティ調査）を定期的に行い、芝生のクッション性、透水状況等を確認することで、良好な生育環境を確保しており、それが利用者数の維持・増加という具体的な成果として現れていることは評価できる。
- ・より多くの利用に繋げるため、公園利用者の対象を従来のサッカー利用者に限定せず、園内の植栽整備やラグビーイベントの共催など、広く門戸を広げることで、公園の魅力向上と利用層の拡大を効果的に実施したことは評価できる。
- ・冬季のナイター運用に関する要望を汲み上げ、利用時間の繰り上げ等に迅速かつ柔軟に対応することで、利用者の満足度向上に努めたことは評価できる。
- ・今後も、災害への危機管理、安全性を保ちながら、公園の利用促進及び満足度向上につながる取り組みに期待する。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。